



筒井633
☎98514140

松前町ふるさと
ライブラリー

8月の新刊

- ◆十津川直子の事件簿／西村 京太郎
 - ◆ハーバード白熱日本史教室／北川 智子
 - ◆上昇思考／長友 佑都
 - ◆夜の国のクーパー／伊坂 幸太郎
 - ◆岳飛伝 1／北方 謙三
 - ◆光／道尾 秀介
 - ◆ももこのまんねん日記 2012
／さくら ももこ
 - ◆魔境の女王陛下／田中 芳樹
- ※この他にもたくさん本が入っています。

こわいおはなしかい

日時 8月7日(火) 17時30分
場所 文化センター2階
ふれあい展示室

小学生から大人まで楽しめるおはなしかい。暑い夏の日、こわいおはなしかいを聞きにきませんか。

8月のふるさとライブラリー

○開館時間 9時30分～19時
○休館日 8月31日(金)

東
公民館

神崎210
☎98411159

分館家庭教育学級

6月20日の大溝分館を皮切りに、9地区の分館で地域住民を対象に青少年健全育成事業を行います。啓発映画「ケータイトラブル」を見た後、北伊予小・中学校の先生から講話がありました。ある地区での校長先生の講話では「ことばのちから」と題して三行詩を紹介していました。「『いつてらっしゃい』門に立って送り出すでも、すぐに家には入らない。あの角であなたがもう一度、振り返るのを知っているから」この光景、胸にジーンときませんか？ところで、校長先生と教頭先生の間で、この関係は「親と子」それとも「夫と妻」か意見が分かれまされた。皆さんは、どちらだと思えますか？



夜をぶっとばせ

井上 荒野 著 / 朝日新聞出版



どうしたら夫と結婚せずにすんだのだろう。「思い切ったこと」がしたくなったある夜、ネットの掲示板に書き込んだことで、たまきの日々は「何が決定的に」変わり始める…。

置かれた場所で咲きなさい

渡辺 和子 著 / 幻冬舎



どんな花でも咲けない日があります。その時は、根を下へ下へと降ろしましょう。辛い日々も笑える日につながっているのです…。ノートルダム清心学園理事長が和らぎの言葉を紹介。

西
公民館

北黒田966-2
☎98415313

青少年育成会総会

6月13日、松前校区青少年育成会総会が開催されました。研修では、伊予警察署生活安全課の宮本孝子さんに「子どもの非行防止について」と題して講演していただきました。その中から「非行にならない子の特長」4点を紹介します。
①長く打ち込む活動をしている子(部活・趣味など) ②目標と目標達成意欲をもっている子(〇〇大会で入賞するなど) ③親への愛着・愛情をもっている子(家族の力) ④よい自己概念・イメージをもっている子(地域の人からも自分も・地域の活動に巻き込む・ボランティア活動など)
参加者は、熱心にメモを取りながら講話に聴き入っていました。



絵本

ねこざかなのすいか

わたなべ ゆういち 作・絵 / フレーベル館



ねこざかなが海辺で遊んでいると、大きなスイカが流れてきました。かばの親子と一緒にスイカをバカッと割って、食べ終えたそのとき…!? とびだすしかけ絵本。

はなかつぱとはねかつぱ

あきやま ただし 作・絵 / メディアファクトリー



はなかつぱは、自分とそっくりな男の子、はねかつぱのはねろうに出会い、友だちになりました。二人は、ピンチにおちいった、はなかつぱの村を救うことができるのでしょうか…。

包
括支援

筒井710-1
☎98514205

松前町地域包括
支援センター

高齢者と熱中症

室温や気温が高い中で作業や運動をすると、体内の水分や塩分などのバランスが崩れ、体温の調整が働かなくなり、体温上昇、めまい、体がだるいなど熱中症の症状を引き起こします。特に高齢者は、次の理由により自覚がなく熱中症になる危険性が高いです。
①体内の水分不足：高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない
②感覚機能の低下：暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなる
③体の調整機能の低下：体に熱がたまりやすい

熱中症予防のポイント

- ・室温が28度を超えないように、部屋の温度、風通しをこまめにチェックする。
- ・1日に1.5リットル以上(食事以外で)水分を摂取できるように、こまめに水分補給する。
- ・寝る前に枕元に水分を置いておく。
- ・暑い日中の外出は控え、外出するときは涼しい服装で、直射日光にあたらさない。
- ・熱中症患者のおよそ半数は高齢者です。「暑さに強いから、室内にいるから」といった認識でいると熱中症を引き起こします。熱中症対策には、水分補給と涼しい環境を作ることが何よりも大切です。

北
公民館

昌農内456-1
☎98417529

おかだつ子広場

6月28日、放課後子ども教室「おかだつ子広場」がスタートしました。この日の活動内容は七夕飾り。その後、出来上がった笹飾りをバックに記念撮影です。前列はもちろん、岡田小学校の1・2年生34人。その子どもたちを取り巻くのは、保護者・地域実行委員会(写真)・学習アドバイザー・安全管理員・社会教育課の皆さんです。このように多くの人々の協力を得て、安心・安全の場で活動が展開できることを感謝しています。
子どもたちに寄せる地域の思いが、ずっと続いていきますように。また、短冊に書かれたたくさんさんの願いが、一つでも多く叶えられますように。

